

現在、臨床研究開発部では、バイオバンクご協力者からいただきました
検体・診療情報等を使って、下記の研究課題を実施しています。

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下記の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。この研究ではご提供していただいた試料等を用いて解析し、データとしてまとめるものであり、ご本人またはご家族の健康に関する新たな結果が得られるものではありません。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身がバイオバンクに提供された検体・診療情報等を「この研究課題に対しては利用して欲しくない」と思われた場合には、バイオバンク事務局（末尾）にてそのお申し出を受け付けておりますので、ご参加時にお渡ししました協力意思（同意）の撤回書をバイオバンク事務局までご提出いただくか、もしくはバイオバンク事務局までその旨ご連絡下さい。

【研究課題名】

日本人集団に対する冠動脈疾患ポリジェニックリスク予測モデルの構築に関する研究

【研究対象者】

国立循環器病研究センター バイオバンクの同意をいただいた方のなかで、冠動脈疾患と診断されている方

【利用している試料・診療情報等及び管理責任者】

（試料）DNA 1 μ g （診療情報等）病名、年齢、性別

（解析データ）「がんや難病に関するゲノム医療の推進に必要な健常群・疾患コントロール群のデータ構築」
研究の全ゲノム解析データ

管理責任者 国立循環器病研究センター 理事長 大津欣也

【利用の目的】

心臓病、がん、糖尿病のような病気では、1つでは影響が小さい遺伝子変異が複数存在する（ポリジェニックリスク）ことが、疾患の発症に関わることがわかってきています。本研究では、冠動脈疾患の患者さんの遺伝子を網羅的に解析することにより、複数の遺伝子変異をスコア化して、日本人の冠動脈疾患の発症を予測できる手法を開発することを目的としています。

【遺伝子解析研究】（有）

【共同利用研究機関・研究責任者】

株式会社東芝 技術企画部ライフサイエンス推進室 室長 萩原 隆夫

【共同利用研究機関における試料・情報の管理責任者】

株式会社東芝 技術企画部ライフサイエンス推進室 室長 萩原 隆夫

提供方法：試料・情報を特定の個人を直ちに識別することができないよう加工し、試料は宅配便で共同研究機関に輸送し、情報はパスワードを付けて電磁的記録媒体を共同研究機関に送付します。

【利用期間】

研究許可日より 2023 年 3 月までの間（予定）

【バイオバンクでの検体・診療情報等の取扱い】

バイオバンクでは、お預かりした検体や診療情報等には特定の個人を直ちに識別することができないよう加工を行い、ご協力者の方の氏名や住所などが特定できない形にしたうえで、センター倫理委員会の承認を受けた各研究課題に対して払い出しを行っております。

バイオバンクでの取扱いの詳細をお知りになりたい方は、下記バイオバンク事務局までお問い合わせください。

【バイオバンク事務局】（応対可能時間：平日 9 時～16 時）

電話：06-6170-1070（内線 31050）、ファックス：06-6170-2179

E メール：biobank-jimu@ml.ncvc.go.jp

【研究代表者、および、研究内容の問い合わせ担当者】

研究代表者：臨床研究開発部 部長 坂田泰彦

研究内容の問い合わせ担当者：バイオバンク事務局

電話 06-6170-1070（代表）（内線 31050）（応対可能時間：平日 9 時～16 時）

【バイオバンクでの検体・診療情報等の取扱い】

バイオバンクでは、お預かりした検体や診療情報等には特定の個人を直ちに識別することができないよう加工を行い、ご協力者の方の氏名や住所などが特定できない形にしたうえで、センター倫理委員会の承認を受けた各研究課題に対して払い出しを行っております。

バイオバンクでの取扱いの詳細をお知りになりたい方は、下記バイオバンク事務局までお問い合わせください。

【バイオバンク事務局】（応対可能時間：平日 9 時～16 時）

電話：06-6170-1070（内線 31050）、ファックス：06-6170-2179

E メール：biobank-jimu@ml.ncvc.go.jp